

竜の眼

編集方針

- ①会員の自由かつ達な意見交換の場
- ②オンブズマン活動の発展に貢献
- ③おもしろく、分かりやすく、役に立つ

第10号 2005.5.1発行
仙台市民オンブズマン・タイアップグループ
仙台市青葉区中央4-3-28朝市ビル3F
宮城地域自治研究所内
TEL022(227)9900 FAX022(227)3267
<http://homepage3.nifty.com/s-ombuds/>
e-mail:s-ombuds@nifty.com



ハウス内は春 山元町「夢いちごの郷」

撮影：三塚芳徳

仙台地下鉄 東西線建設

仙台市の計画は 破綻確実

—— 集会でますます明らかに ——

「美しい仙台を創る会」発行
東西線問題早わかりパンフ
(充実版)

が完成しました。

B5判16ページ、オールカラーです。2年前に製作したパンフをさらにわかりやすく、最新のデータも取り入れた労作です。前半はQ&A形式で、地下鉄東西線早わかりのエキスがぎっしり詰まっています。仙台市は税金を使って、うわべだけの小綺麗なパンフやリーフをじやぶじやぶ製作していますが、これらと格段に違います。さすが「美しい仙台を創る会」だけあって、仙台の自然、文化、歴史観への熱い思いが伝わってくる、あたたかいいパンフレットになっています。

頒価200円です。美しい仙台を創る会やオンブズマン事務局にも置いてあります。多くの方に広めてください。



タイアップグループ主催
仙台市民オンブズマン 支援企画は

4月例会では会場の11月仮予約まで決めましたが、企画内容は次回例会(6月7日)で詰めたいと思います。これぞと思う企画がありましたら、事前にでも結構ですので、ご連絡ください。



じ結果になるのだと思われるのに充分でした。また各氏はパワー・ポイントなどをつかってわかりやすく説明し、青葉通りのけやき並木の伐採や自然破壊と仙台のシンボル破壊にもなる地下鉄建設プランをバッサリと斬りました。

また参加者からは仙台市が事業を既成事実化し、何が何でも強行突破しようとしているすすめかたに批判があり、「いまならこの杜撰な東西線計画を、トップさせることができる」と確信をもつことができました。(2面に参加した一人に感想をよせていただきました。)

岡市長が、乗車数が予定を大きく下回っているのをTVのインタビューで聞かれ、笑ってごまかしていたのは、どこでも同様です。



今度の集会を準備された「美しい仙台を創る会」のみなさんは、「青葉通りのケヤキ並木を守る会」の方を中心、毎月第4水曜の12時から13時まで、中央通りと東二番丁角で「署名活動」を行っています。なんと毎回300筆以上の署名が集まるそうです。

署名用紙はホームページからもゲットできます。また代表の泉田さんは、青葉通りと晚翠通り角のコンビニのオーナーです。お店でも署名用紙がもらえます。ぜひ、ご協力を願います。



青葉通りの
ケヤキを守ろう

一人でも多くの市民に

知らせよう

仙台市民オンブズマン・タイアップグループ

島 和 雄

地下鉄東西線裁判で明らかになつた問題点の検証を中心とした今回の集会には130名もの市民が参加致しました。

裁判の争点は「需要予測の誤り」と「建設コスト算出の出鱈目さ」であり、その中で明らかになつたことは、市民の間では勿論のこと市議会ですら充分な議論もされず、決定に至る根拠となる資料も全くなき（政策決定過程の空白）ままに事業を既成事実化していこうとする市行政の無謀さです。これには、集会に参加してはじめて知ったと言う市民も怒り心頭と言つたところでした。ところが、昨今の「7月の市長選で争点にはなり得ない」との藤井市長の認識には愕然とします。

報道に寄れば、「過去にずいぶん市民と話し合い、その上で国の事業許可を得た経過がある。ここまで来てもう一度、（議論を）元へ戻すということはできない」ので「争点にはなり得ない」と述べたと言つてですが、「市民と話し合いの記録も無ければ、「国の事業許可を得た」資料も明確ではありませんか。

集会の中で、「この様な暴挙を知ったからには、市民の一員として他の市民に知らせる『権利』がある」という発言に大きく頷きました。それ以上に、「本気になって止めようとした人がいなかつたのも、この様な暴挙を許す一因であろう」という発言には感動すら覚えました。

市長が「肃々と進め」ようとしているこの暴挙を、きたる市長選の大争点として働きかけ、本気な止めさせる市民を、一人でも多く増やさなければならぬと、改めて思い知らされた集会でした。

付 記

これは、単に地下鉄そのものに反対しているのではない。要するに他都市での失敗という先例から学ばず、「高い需要予測と低い工事費」という「ペテン」をしなければ進めるとの出来ない様な暴挙を、市民として放置してはいけないと言つていいのです。

「杜の都・仙台」の 心の拠りどころを失わないように

今年も青葉通のケヤキの木々たちは新しい緑を芽吹きはじめ、私の一番好きな季節を迎えます。毎朝、仕事場への通勤にこの青葉通のケヤキ並木を通るたびに、ケヤキの精霊たちに一日の活力をもらっているように感じています。仙台市民にとって青葉通のケヤキ並木は「戦後復興の証」ということ、西公園や仙台一高のサクランボ伐採されてしまうことも集会を通じて知りました。青葉通のケヤキ並木が好きで引っ越してきた私だけでなく、仙台を離れた人達にとっても、不要不急でしかも財政破綻が必至の「地下鉄・東西線」のために「杜の都・仙台」が故郷だという心の拠りどころを失ってしまう

ことは、とても悲しいし、思かなことです。集会には思ったより多くの市民の皆さんに参加していただきましたが、まだまだ拡がりが足りないようにも思います。もの言わぬのが東北人の美德といつていられない状況となっています。言わなきや相手に想いが伝わらないし、行動しなくちゃ変えられないんだ。企業に置き換えれば、投資とその収益性は充分に検討されなければ会社の存続にかかわります。

「東西線」が「倒財線」にならないよう、便益性という美句に惑わされずに、しっかりと将来を見据えた議論への市民参加がもっと必要だと感じた集会でした。

仙台市民オンブズマン
齋 藤 晃

次回例会のご案内

6月7日(火) 午後6時30分より
宮城地域自治研究所(朝市ビル3階)
賑やかにおこなうたいと思います。ふるて御参
加ください。若干のお飲物などご用意しますが、
持ち込みは大歓迎です。

タイアップ会員の皆様へ

メールアドレスの登録をお願いします

会員の皆様へのご連絡は、従来どおり郵便を基本としながら併せてメールでもご連絡を差し上げたいと思います。ぜひ、メールアドレスの登録にご協力ください。標記のメールへ「タイアップ会員メール登録」ということでメールをお願いします。

タイアップグループは、仙台市民オンブズマンをより多くの方々に支援していただきため「賛助会員制度」をつくりました。賛助会員になつたお二人によせていただいた



この欄は皆さんの意見
交換のスペースです。
投稿をお待ちしています。

「声をあげて 行動する意味」

石 井 明 子

春の芽吹きを求めて、里山に分け入る事数日。友人の熊さんは、ふきのとう、せり、クレソン、かたり、アザミの芽など、種々な春の香りを食卓に届けてくれる。自然の恵みに感謝の時。このような豊かな自然をいつまでも残してほしいと願うのは私だけでしょうか。仙台市政に挑む市民オンブズマンの先生方に惚れ込んで、早く、六年。今年からやつと、タイアップグループの仲間入りをしました。

日頃よりお世話になつている先生方に感謝の気持ちを込めて、良識ある姿勢を温かく支えていきたいと思います。



4月10日

「地下鉄やめてケヤキを守ろう」の
集会に参加されたお二人の感想です